

地域 ICT クラブ（プログラミング教室）の視察

令和元年 8 月 4 日（日）、中国情報通信懇談会は地域 ICT クラブの視察を開催し、会員である自治体や企業などから 13 名が参加しました。

「地域 ICT クラブ」とは、子どもたちが、野球クラブやサッカークラブのように学校外でもプログラミングなどの ICT を楽しく学ぶことができる環境を整備し、世代を超えて知識・経験を共有する仕組みです。

今回、視察した広島県三原市を拠点に活動する「地域 ICT クラブ」は、一般社団法人 RoFReC（代表：岡田 吉弘 氏）が、中心となり、行政、教育委員会、大学、地元企業、商店街などの協力を得て、プログラミング教室を開催し、子どもたちが、プログラミングしたコミュニケーションロボットを実際に商店街に設置するなど、地域の活性化にもつなげる活動を展開しています。

●プログラミング教室の様子



- ▶ 子どもたちは、メンターからの指導のもと商店街へのヒアリングなどを行い、要望に添ってコミュニケーションロボットを動作させるためプログラミング作業を行いました。
- ▶ メンターのフォローももちろんありますが、子どもたちが考えたことを積極的に発言し、主体的に作業に取り組んでいました。
- ▶ 今回の視察では、地域（商店街）と連携しながら、子どもたちが楽しくプログラミングを学んでいく環境づくりに精力的に取り組む岡田代表の熱意と、子どもたちの笑顔が印象的でした。
- ▶ プログラミング教室の成果として、8 月 9 日～11 日に三原市で開催された「やっさ祭り」に併せて、プログラミングしたコミュニケーションロボット 3 体を JR 三原駅周辺に設置し、市民や観光客の皆さんに三原の観光名所、名物などを PR したそうです。

●プログラミング教室の終了後、参加者全員で記念撮影！



●ウェブサイト

・一般社団法人 RoFReC

<https://www.rofrec.jp/>

【編集後記】

中国情報通信懇談会では、今後も AI・IoT、ロボティクス技術など活用した Society5.0 (超スマート社会) の到来に向けて、IoT を活用した先進的な取組を進めている団体や、IoT 導入により生産性の向上や業務の効率化が図られている事業所などの視察を実施してまいります。